

目標達成計画

作成日: 平成 25年 7月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	身体拘束は原則的にしないケアを心がけているが、入居間もない利用者の落ち着いた生活ができるまでの期間、昼間玄関に施錠している。	昼間、玄関の施錠をしないケア尾の取り組み。	早期に利用者家族と話し合いを持つ(意向の確認) 危険防止重視の生活にならないよう、本人の気持ちに寄り添うケアを心がける。	6ヶ月
2	26 (10)	介護計画とモニタリングについて、本人家族の思いを積極的に取り入れて話し合い、介護計画をチームで作成する。	ケア会議に本人・家族の参加を促し実施する。	利用者のホームでの状態を理解できるよう連絡を密にする。 「家族の懇談会」をケアプランに結び付けていく。	8ヶ月
3	33 (12)	本人や家族は今後必ず向かえなければならない看取りの問題をどのように考えているか、確認するとともに、具体的な対応策を職員全員が共有しマニュアル化する。	家族と看取りについて話し合いの場を設ける。	職員に研修受講を勧める。 職員会議の議題に取り上げ、内部で身近な問題として話し合いをする。	10ヶ月
4	35 (13)	災害対策で訓練や避難誘導にとどまらず、地域との協力体制を強化し行政等との調整を図り災害に備える。	災害時における一時避難所としての内容を見直す。	運営推進会議を通して自治会と話し合う。 防災関係部署(行政関係)等との調整を行う。 備蓄品を7日分整備する。	12ヶ月
5	36 (14)	利用者一人一人の人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねない。言葉かけや対応に配慮する。	利用者の尊厳のある暮らしを再確認をする。 プライバシーや自尊心に配慮して言葉かけや対応を見直す。	職員会議・ケア会議等で意見交換を行う。 日常的な会話の中にも本人を敬う言葉かけや対応に取り組む。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。